

景況実感調査(2015年9月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 輸出市場の悪化が落ち着くまでは、市中在庫、価格とも厳しい状況が続くであろう。来年の内需に期待。
- ② シルバーウィークも入り18日稼働となり8月と同日数だが、売上・数量ともに対前月比は減少。市況も先安観が強まり、荷動き低迷が止まらない。都市部の再開発計画は、ホテルや商業施設、大型物流センターなどゼネコンは元気を取り戻しつつあるが、空中戦でほぼ決まり、店売り部門への波及効果はあまり感じられない。メーカーも減産を続けているが、輸入玉の流入もあり、在庫減が進んでいない。秋需も後ずれし、10月帳場明けから年度末にかけての実需回復が待たれる。
- ③ 市況は相変わらずジリ貧だが、外材の第4Qの価格次第で一気に崩れる恐れありと思慮。
- ④ 増税後から続く店売りの低位停滞は上昇する見通しはなく、今後予想される相場の更なる下げに対し、商いは細くなる一方であろう。
- ⑤ 9月SWの影響も少なく、実需が増えた。輸入材の大量入着が懸念されているが、建材向けに限定的な物でインパクトは大きくない。ただ、不安なのは目先年内の見積りがあまりにも少ないことだ。

中板

- ① 需要の少ない中、東鉄値下げの影響を受け販売先は当用買いに終始。稼働日数は8月より1日増だが販売減となる。需要の回復に期待しているが、具体的な話は聞かせてこない。

厚板

- ① スクラップ価格の下落で、切板の部損の処分単価が年初の1/2で厳しい状況になっている。

—舟安开形鋼

- ① 9月中旬から荷動きに下振れが見られる。市況も同時に弱含み。一部品種に下落も見られ、実需の減退か人気によるものか見極めがつきかねる。10月は積極営業が求められる。
- ② スクラップが下がっていて、何か良い波に乗れない。価格も下げざるを得ない。

II形鋼

- ① 在庫調整等も進んではいるものの、本格的な需要は無く、価格も弱含みで推移している。
- ② 市況は弱含みで推移している。底値が見える状況になるまで続くであろう。ただ、底値が出て来る要素が見当たらない。

異形棒鋼

- ① スクラップ価格の急落もあって、物件、在庫販売ともに低調。市況の下落、メーカーの頑張りで流通採算は更に悪化してきた。やはり秋需は無い。
- ② 予想より悪かった8月の動きのまま9月となった。10月は少しの秋需は感じるが、受注残が無く、いま必要な物だけで低位安定。スクラップの大幅下げで、価格は段階的な下げになるだろう。

平鋼

- ① 荷動きは相変わらず横這い。東鉄の発表待ちもあってか前半は在庫用の引合いも無く、荷動きは非常に悪かった。発表後は、当用買い中心ではあるが多少は持ち直している。建築は端境期ではあるが、細かい物件は動いているのか。価格は東鉄価格や他品種に引っ張られ、じり安傾向。

軽量開形鋼

- ① 昨年9月の売上高は好調だったため、今期はやや不調。10月以降、上向きの予想。
- ② 引合いは少なく、価格を下げて量も増加は難しい環境にある。価格は徐々に上向いているが、配送コスト増などの要因から思うように収益の改善が見えてこない。

鋼管

- ① 7月以降、低調横這いが続いている。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品はメーカー、車種ごとにまだ模様で下期は一定の回復が期待できるが、先々不透明である。建設機械関連は、国内外ともに低調な動きが続いており、回復の兆しが見えない状況である。工作機械、産業機械関連は堅調な動きが続いていたが、先々不透明となっている。店売りの荷動きは大きな変化なく、低調な動きが続いている。市況は弱含み横這いで推移している。
- ② 建機関連は低調な動きは変わらず、今後も厳しい状況が続くと思われる。店売りも状況は変わらず、低調が続いている。市況も弱含みで推移している。

鋼材全般

- ① 市況に先安感があり、顧客の在庫意欲が無く数量が伸びない。年末に向けての物件見積りもあり、早く相場が安定することに期待したい。

その他

<曲げ加工>

- ① 例年9月は上昇気味だが、8月同様加工が伸びず苦慮しているところである。設備投資も少なく、一向に忙しくならないのが残念である。早くか回復してくれることを望んでいる。

<スクラップ>

- ① 9月中旬頃、下げ止まった感が出たが、予想は外れ10月にかけても価格はまだまだ下がりそうだ。国内需要も悪く、輸出頼みになっているスクラップは中国経済の影響がかなり大きい。今後、下げ止まったとしても価格が上がることは、しばらく期待できないのではないかと。

<建機レンタル>

- ① 在庫が無い状態。有効的な運用が必要。

<金属表面処理加工>

- ① 8月は紐付き、物件物を中心に計画通りの操業。スポット案件も連休明けより活発な発注があり、扱い量は通常比20%増となった。客先要求で一次加工製品の扱いが増え、単価も上昇。10月以降も造船プラント向けを中心に高操業で推移しそうである。